

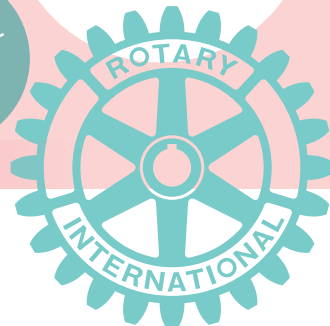


国際ロータリー第 2530 地区 郡山アーバンロータリークラブ

国際ロータリー第2530地区ガバナー 鈴木 邦典
会長 佐藤 功一
幹事 鈴木かおる



ロータリー：
変化をもたらす



第 37 回例会 H.30.4.18 (水) ☂

- ▶開会点鐘 ▶ロータリーソング「それこそロータリー」
- ▶四つのテスト唱和 鈴木尚子さん
- ▶ゲスト 齋藤久之丞様 (郡山西北RC・開成社代表社員)

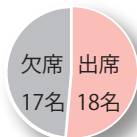
会長挨拶

佐藤 功一 会長

先週のマイロータリー講習会では味戸誠一郎さんと渡邊万里子さんに大変お世話になりました。最初は難しく感じましたが、意外に簡単に登録できたように思います。100%登録を目指していただきたいと思いますのでよろしくお願いいたします。
土曜日には郡山西RCとの合同観桜会を行います。桜は散ってしまいましたが、親交を深めたいと思います。
ロータリー公共イメージと認知度の向上として、先週の理事会で承認され、5月30日(水)の例会後に日和田のイオンモールフェスタ店で、郡山市の保健婦さんたちと一緒に活動を行います。当日はお客様感謝デーで、多くの来店者が見込まれるそうですので、2千枚ほどのチラシを市からもらいました。詳細は後日ご案内しますので、皆さんのご参加をよろしくお願いいたします。

出席報告

宗形千鶴 委員長



総 員 35名
出席率 51.43%
前回修正率 54.29%

スマイルBOX報告

津野順子 副委員長

- 😊 齋藤久之丞様 ▶卓話の機会を頂戴しました。
- 😊 佐藤 功一 ▶齋藤久之丞様の卓話を楽しみにしています。
- 😊 鈴木 尚子 ▶齋藤久之丞様の卓話を楽しみに例会出席いたしました。
- 😊 岩山 慎一 ▶齋藤久之丞さんよろしく。
- 😊 藤田 弘美 ▶齋藤久之丞様の卓話を楽しみにしております。
- 😊 蔭山 寿一 ▶齋藤久之丞様の卓話を楽しみにしております。
- 😊 石堂勝壽😊 大山三起雄😊 宮澤キヨ子😊 小林真砂子
- 😊 渡邊万里子

幹事報告

鈴木かおる 幹事

5月9日の例会に来られる佐原元パストガバナーが、RIの「超我の奉仕賞」を受賞されました。2530地区で二人目だそうです。地区でお祝いの会が開かれます。30日に来られる予定だった佐藤和夫ガバナー補佐と、石黒秀司米山記念奨学会委員長も9日に来られることとなりました。多くの皆様のご出席をお願いいたします。

飯館村支援Tシャツ

小林悦子 青少年奉仕委員長

4月16日(月)に、飯館村の児童に支援のTシャツを鈴木尚子先生と渡邊万里子さんに届けていただきました。福島しんたつRCの方々と現地集合して飯館村に寄贈し、昨日の新聞に大きく掲載されました。コシノヒロコさんとお嬢さんのゆまさんが親子でデザインされたTシャツで、お花畑をイメージして5色で作りました。新しい門出に記念になると大変喜ばれ、御礼の手紙をいただきました。皆様のご協力に感謝申し上げます。

郡山アーバン、福島しんたつRC

西川氏(手前右)、鈴木氏(手前右から2人目)らからTシャツを受け取る(手前左から)木幡さん、鳴原君、渡辺さん、細川さん、樋口君



プログラム/ゲスト卓話

ゲスト紹介

宮澤キヨ子 広報委員長

開成社代表社員の齋藤久之丞さんは郡山西北RCの会員であり、富久(株)の取締役です。今日は無理にお願いしてお迎えすることとなりました。後継者や若い方に語り継ぎたい内容であると思います。楽しみにしておりますのでよろしくお願いいたします。



合名会社 開成社 代表社員
齋藤久之丞様
「安積疏水と開成社」

宮澤さんから卓話をして欲しいと何度も言われて再三お断りしておりました。宮澤さんのお父さまは二中の校長をされ、旦那さまは中央商店街の専務理事を長



プログラム／ゲスト卓話

く務められました。そのためにやむにやまれずお引き受けすることとなりました。津野さんは中学校の同級生、藤田さんは卸団地で日頃からお世話になっており、岩山さんは大先輩としていろいろお世話になっております。今日はよろしくお願いいたします。資料の中の「開成社ものがたり」は、9 年前の開成社創立 135 周年を記念して作成したホームページを印刷したものです。明治のはじめ頃の郡山は 5 千人ほどの人口で活気があり、宿場町として栄えておりました。その中の 25 人の商人のお話です。明治維新により仕事がなくなった武士に仕事を与えようと、福島県の役人の中條正恒が福島県令の安場保和と一緒に、安積原野を素晴らしい土地にするために始めたのが安積開拓です。明治 4 年に岩倉具視が団長となり、約 60 名がアメリカ・ヨーロッパ視察に行きました。安場は大久保利通などと一緒に、移民たちの開拓で活気づく海外の様子を見ました。明治 6 年に安場が福島県に赴任した時に話が盛り上がり、開成社ができて開拓が始まり、後に猪苗代から水を引く事業にまで発展していくことになったわけです。県令の安場と、国のリーダーの大久保とのつながりがあったことが、安積開拓の大きなポイントであると思います。片平にある出磐山（でけいやま）は、今は高速道路で半分削られましたが、安場と中條が登って安積原野を見て、開拓すれば良い土地になると思いました。まずは開成山地区を開拓しようと、郡山の商人の阿部茂兵衛、嶋原弥作、橋本清左衛門などに、民間の力も必要だと何度も話しました。中條は後に「安積開拓の父」と呼ばれる功労者です。説明会には 200 人ほど集まりましたが、儲け話ではないと分かり、最終的に残ったのははじめの 25 人でした。

その頃の福島県は絹の大生産地として知られていましたので、中條は開拓地に桑の木を植えることにしました。しかし 25 人の商人たちは水田を作りたいと考え、はじめに灌漑用池を作ることと決め、約 10 か月で完成しました。今は大部分が埋め立てられましたが、五十鈴湖として開成山公園に残っています。本来の目的である大槻原の開拓に備え、商人たちは明治 6 年 11 月に開成社を作りました。明治 8 年 6 月に内務卿となった大久保から、開成社を認定する知らせが届きました。開成社で開拓した土地は桑野村で、開成山公園の近辺です。南側には桑畑、北側には田んぼがありました。

開拓にはたくさんの入植者が入りましたが、水不足や冷害などで大変苦労しました。開成社で米を会津から買入れて配ったこともあるそうです。開拓から 3 年ほど経つと、修理が必要な施設が出てきました。25 人の商人たちは予想をはるかに上回る莫大なお金を工面して出し続けました。明治 8 年に開拓事業の計画や進み具合を話し合う事務所として開成館が建てられました。開成社の商人たちが多くを負担し、地域の人々からも寄付が寄せられました。明治 13 年には開成小学校もできました。戦後の昭和 20 年から引揚者の社宅となったために荒れましたが、昭和 41 年に郡山市が回収して現在の建物になりました。本格的な神社造営への機運により、開成山大神宮が建立され、明治 9 年 9 月に式典が盛大に行われました。以来、開成山大神宮は地域の人々の心のよりどころなり、親しまれています。開成山大神宮のお祭は、春は 4 月 22 日、秋は 11 月 17 日に盛大に行われております。

開成社の歴史の中で最も晴れがましい出来事は、明治 9 年 6 月 16 日の天皇巡行でした。明治天皇は開成館にお泊りになりました。翌日、郡山学校に立ち寄られた時に、同行していた内閣顧問の木戸孝允に校長が学校の命名を願い出て、金透と名付けられました。その時の記念写真は開成館の中にも飾られています。25 人の開成社創立当時の出資総額は 22,181 円で、現在に換算すると約 4 億円です。この 25 名のうち 23 名が郡山におり、浜松と東京にいる 2 名とも今でも連絡が取れており、4 月 22 日の総会にも出席します。

開成社をはずみに、猪苗代湖の水を安積平野に引くことはできないかと考え、大久保の働き掛けにより、安積疏水が起工されました。大久保は明治 11 年に暗殺されますが、その直前に県令が安積疏水の大事業の話に行っておりまして。もし大久保が暗殺されなければ、福島県も大きく変わっていたことと思います。県庁移転の話もあったと言われています。明治 12 年 10 月に、安積疏水の起工式が開成山大神宮で行われました。開成社の人たちが後世のために残したのがあります。大槻原の開墾、開成山公園の池、その周囲の桜です。明治 11 年に開成山公園と大神宮の周囲に 2 万本を超える桜を植樹しました。ソメイヨシノは江戸後期にできた桜の一種で、60～70 年で枯れるとされています。開成山のソメイヨシノは明治 11 年に 10 年ものの苗木を植えたとされています。現在一番古いのは青森県弘前公園に明治 15 年に植えたものとされていますが、昨年の郡山市が依頼した調査によると、それよりも古いとされました。にこにこ子供館の向かい側の開成山公園にあり、小さい看板が立っていますので、ぜひ見ていただきたいと思います。日本一古いソメイヨシノを誇りに思い、もっと P R していけば、郡山のイメージも変わっていくのではないかと思います。



ロータリー財団寄付者

■ 味戸誠一郎 ■ 鈴木尚子

米山記念奨学会寄付者

■ 津野順子 ■ 大山三起雄 ■ 白岩邦俊 ■ 蔭山寿一
■ 佐藤功一 ■ 味戸誠一郎

ポリオ寄付者

■ 鈴木尚子 ■ 蔭山寿一 ■ 佐藤功一 ■ 宮澤キヨ子

閉会点鐘